

No.878 令和4年(2022)8月1日(月) 2022-31号
発行責任者:院長 澤田勝寛
isonare@ka2.so-net.ne.jp

◆コロナ関係

連日20万人を超える新規感染者が出ています。家庭内で感染者が一人出るとほぼ家族全員が罹患します。感染者、濃厚接触者が増えることで、色々な産業の業務に支障が出ています。

当院は、休職者が増えたため病棟の看護体制の維持が困難となっていました。そのため、1病棟を閉鎖し、今週の救急応需を制限することにしました。

感染者の急激な増加により、再び医療の逼迫となっています。重症者は少ないものの、軽症者で発熱外来に列ができる、検査キット不足が起こり、登録作業に時間と手間がかかっています。また治療薬を入手するのに手続きがかかりすぐに処方できないなどといった状況が続いている。ワクチンもしかし。いまだに配給制で打ちたい時に打てないのが実情です。

有効な手立てがないのは理解できますが、煩雑な事務作業や、検査キット不足、ワクチン不足はそのままで、国は都道府県に対策を丸投げしており、これはもはや人災ではないかと思っています。

◆病院・慈恵会グループからのお知らせ

・神戸総合医療専門学校

放火された放射線科の復旧工事の工程を建築会社と打ち合わせ中です。

・松江総合医療専門学校

7月31日のオープンキャンパスは盛況で、リモート挨拶にも力が入りました。



まじめな人間 下村胡人

まじめな人間とは絶えず自分が自分と対決している人のことである。他人との対決におけるまじめさは、必ずしもその人がまじめな人間であるという証拠にはならない。

世間には「まじめに」他人とばかり対決している人が目につき、この言葉に納得です。

◆今週の院長予定

8月1日	月	8:00運営会議、17:30医局会			
8月2日	火	9:00外来、14:00手術			
8月3日	水	松江			
8月4日	木	9:00来客、9:30来客			
8月5日	金	9:00外来、14:00手術			
8月6日	土	11:30松江校オープンキャンパスリモート挨拶			

「年輪」

No.878



◆私の本棚

・サリエルの命題

榆周平 講談社文庫

日本海の孤島で新型インフルエンザが発生し、島民全員が死亡した。このウイルスは、アメリカの研究データが流出し、これ元に作られた人工的なウイルスであった。同じウイルスによる集団発生が本州でも確認され、その集落をロックダウンするも徐々に感染が拡大する。日本で作られた唯一の治療薬の効果が確認されたものの、備蓄量が少なくその投与の優先順位をめぐって世論は二分する。職種で優先順位を決めるのか、老人より若者を優先するのか。

高騰する医療費を限りある予算のなかで、どのように分配するかは避けて通れない問題であり。この本は、感染症を題材にして、日本の社会保障制度に問題提起している。



実践健康法 その8
ファスティング

断食のことです。約半日、厳密には16時間食事の間隔をあけるプチ断食をほぼ毎日しています。断食するとオートファジー効果で古い蛋白が除去され、長寿遺伝子が活性化されます。

筋トレや体幹トレと合わせてすることで、締まった体となり肥満は解消され体調もよくなります。

朝抜きで多少空腹感を覚えることがあります
が、空腹感は幸福感と感じ、続行しています。

タモリ、鍵山秀三郎さんなど、断食をしたり、一日一食の人も結構いるようです。

神戸で一番
親切で
丁寧で
優しい医療を

